

【エベロリムス溶出性コバルトクロムステント（XIENCE）を留置された患者さまへ】

当院 循環器内科では、京都大学と共同で『エベロリムス溶出性コバルトクロムステント（XIENCE）留置後の抗血小板剤 2 剤併用療法（DAPT）期間を 1 ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究』を実施しています。この研究は、冠動脈疾患の治療として冠動脈にエベロリムス溶出性コバルトクロムステント（XIENCE）を留置された患者さまを対象に、ステント留置後の抗血小板剤 2 剤併用療法の期間を検討する研究です。この研究の対象となる患者さまに関しましては別途、同意説明を行い患者さまからの同意が得られた場合のみ、この研究に参加登録させていただきます。この研究は 2015 年 12 月から約 8 年間行う予定です。

この研究の登録期間中（2015 年 12 月から約 2 年間）、当院にてエベロリムス溶出性コバルトクロムステント（XIENCE）を留置された患者さまの年齢、身長、体重、診断名、既往歴、合併症、冠動脈疾患の治療内容等の情報を収集する調査を実施します。この調査は、研究に登録された患者さまと非登録の患者さまの背景を比較することを目的とし、今後の冠動脈疾患の治療指針を策定する資料として使用します。収集した患者さまの情報は、患者さま個人が一般的には特定できない状態にした上で、データセンターを介して、研究代表機関である京都大学に提供されます。情報の提供は特定の関係者以外はアクセスできない WEB システムを用いて行われます。どの患者さまの情報を提供したかは、当院の研究責任者が対応表を用いて管理します。この調査の結果が、専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。患者さまのプライバシーは十分に尊重され、患者さま個人を一般の方が特定できる情報が外部に公表されることはありません。

調査の対象者となることを希望されない場合は、下記連絡先までご連絡ください。

また、研究・調査に関する資料は、他の研究対象者等の個人情報等の保護や研究に支障がないと判断される範囲で入手・閲覧することが可能です。

研究・調査に関する資料の入手・閲覧や、個人情報の開示に係る手続きを希望される場合、その他不明な点がありましたら、主治医もしくは当院研究責任者までご連絡ください。

当院研究責任者：循環器内科 副院長 下村 英紀

連絡先：〒816-0864

福岡県春日市須玖北 4 丁目 5 番地

TEL：092-573-6622（代表）

担当：循環器内科

<研究組織>

研究責任者：京都大学医学部附属病院 循環器内科 木村 剛

研究参加機関：全 132 施設

STOPDAPT-2 研究ホームページ：

https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000022290